

令和5年度 第2回桐生市子ども・子育て会議の開催結果について（議事要旨）

○日 時 令和6年2月20日（火）午後2時00分～午後3時20分

○場 所 桐生市保健福祉会館 5階 503会議室

○出席者 31名

【委員】17名

会 長：桐生私立保育園連盟

副会長：桐生市私立幼稚園協会

委 員：桐生市PTA連絡協議会

桐生市公立保育園 保護者代表

桐生保育協議会（私立保育園）

桐生市公立幼稚園 PTA 連絡協議会

桐生市私立幼稚園協会 保護者代表

公募委員

桐生商工会議所

連合群馬桐生地域協議会

桐生市放課後児童クラブ連絡協議会

桐生私立保育園連盟（保育士部会） 保育士代表

桐生市私立幼稚園協会 教諭代表

桐生市医師会

桐生市民生委員児童委員協議会 子ども未来委員会

桐生保健福祉事務所

関東短期大学子ども学科講師経験者

村野 宣祥

高橋 昇

森田 曜市

西村 洋子

周東 菜々子

小島 明日香

松原 寛子

徳田 秀和

宮地 由高

二津 大介

亀田 修

高田 恭子

加藤 めぐみ

下山 定利

馬場 礼子

小林 崇史

下境 美佐子

【事務局】14名

子どもすこやか部長

子どもすこやか部子育て支援課長

子どもすこやか部子育て相談課長

子どもすこやか部子育て支援課子育て支援係長

子どもすこやか部子育て支援課園児サービス係長

子どもすこやか部子育て支援課子ども施設係長

子どもすこやか部子育て相談課子育て支援センター所長

子どもすこやか部子育て支援課子育て支援係

子どもすこやか部子育て支援課子育て支援係

教育部参事

教育部学校教育課長

教育部学校教育課教育支援室長

教育部学校教育課学事係長

教育部学校教育課教育支援係

須藤 恵理子

須藤 まりこ

関沼 八千代

萩原 利明

浅沼 久恵

山田 将司

戸部 亜樹子

小松 直也

中村 佑未

飯泉 尚士

渡邊 真宏

鈴木 智行

石橋 恵美

木村 友和

【傍聴者】なし

【報道機関】2社

○会議内容

1 開会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・事務局より、過半数以上の委員の出席により会議が成立することを報告。

2 自己紹介

- ・委員及び事務局の自己紹介を行う。

3 会長及び副会長の選出

- ・委員の互選により、桐生私立保育園連盟の村野委員が会長に、桐生市私立幼稚園協会の高橋委員が副会長に就任。

4 議事

- ・議事進行は、桐生市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項の規定により、会長が議長として行う。

(1) 第 2 期桐生市子ども・子育て支援事業計画の変更について

- ・事務局より、資料に基づき説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

会長	ただいまの事務局からの説明を受けて、質問、意見がある方は発言いただきたい。 ないようであれば、私からよろしいか。 「確保方策」という言葉の意味について説明いただきたい。
事務局	「確保方策」とは、市内における教育・保育サービスの需要量の見込み数である「量の見込み」に対して、実際に市が確保する利用可能なサービス量である。この資料で言うと、教育・保育施設に実際に入所できる人数、市が確保している定員数のことである。
会長	他に質問・意見はないようなので、本議題について承認いただける方は拍手をお願いしたい。 拍手多数ということで承認とさせていただく。

(2) 第 3 期桐生市子ども・子育て支援事業計画策定に係るアンケート調査の結果について

- ・事務局より、資料に基づき説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

会長	ただいまの事務局からの説明を受けて、質問、意見がある方は発言いただきたい。
委員	説明の中に、前回のアンケート調査結果との比較について説明があったが、経年比較した集計結果はあるのか。それが見えると現状だけでなく、傾向についても見える気がするので、集計結果があるのであれば後でいただけるとありがたい。

事務局	<p>本日は、丁度、調査結果がまとまったというところで報告させていただいた次第である。前回から大きく変わっている部分等、重要な部分については、比較を含めて分かるような資料を作ってまいりたいと考えているので、次回の会議以降、第3期計画策定の協議をしていただく中で提示させていただきたい。</p>
委員	<p>満足度については、「1」が一番低くて「5」が一番高いということでしょうか。</p> <p>また、この満足度は桐生市内の結果だと思うが、みどり市や太田市など、近隣地域との比較はあるのか。</p>
事務局	<p>ご質問のとおり、満足度は「1」が一番低くて「5」が一番高いものである。</p> <p>また、近隣地域との比較については、現状実施していない。本アンケート調査は国において実施を求められてはいるが、実施時期については各自治体によるところである。今後、他市においてアンケート調査が実施され、その結果がホームページで公表されるようなことがあれば、次回の会議以降、その状況について報告ができるものと思われる。</p>
委員	<p>就学前児童と小学生ともに満足度を聞いており、結果はどちらも真ん中の点数「3」が一番多くなっているが、「3」を付けた理由、さらに言えば、満足している又は満足していない、それぞれに理由があり、その理由が重要であるのかと思うが、なぜその点数をつけたかという理由は聞いているのか。</p>
事務局	<p>点数の理由については、直接的には求めてはいない。しかしながら、本設問に続いて自由記入欄を設けており、そこでは様々なご意見をいただいている。それらのご意見が満足度の点数に繋がってくる部分ではあるのかとは考えている。</p>
委員	<p>本アンケート調査を基に次期計画を立てて、桐生市の保育や子育ての施策に繋げていくものと思うが、その根拠的な部分がこのアンケート調査からは見えにくいと感じた。国からアンケート調査票のモデルが示されているが、もう少し工夫をしたり、必要であれば設問を追加し、ニーズを拾っていくことが必要ではないかと考えるが、それは可能なのか。</p>
事務局	<p>本調査は、子ども・子育て支援事業計画に位置付ける各子ども・子育て支援事業がどの程度求められているか、需要量、ニーズを算出するための調査であり、これが調査の一番の目的である。ついては、設問も世帯状況を確認しつつ、各支援事業の需要量を聞いていく構成となっている。</p> <p>ご意見いただいたとおり、折角アンケートを取るのだから、それ以外の部分として、今後の施策に生かすための独自の設問を設けることももちろん可能ではある。しかしながら、今回は、既に12月にアンケート調査を実施しているところであり、改めて、追加でアンケート調査を実施することは考えていないのでご理解いただきたい。</p>

会長	36 ページ「地域の子育て支援事業の利用状況」の結果が、80%以上が利用していないということだが、これは25 ページの「平日の定期的な教育・保育事業」を利用していない人を分母としているわけではなく、保育園等に入っている人も含めた人を分母としているということによいか。その違いで、結果は変わってくるものと思われるが。
事務局	ご質問のとおり、どちらの設問も分母は同じく718 となっており、全ての人に聞いているものである。保育施設を利用していない方のみには聞いているものではない。
会長	他に質問・意見等なければ、本議題は以上とさせていただきます。

(3) その他

- ・事務局より、委員報酬の支払いについて、今後の予定について事務連絡。

会長	ただいまの事務局からの説明を受けて、質問、意見がある方は発言いただきたい。 特に質問・意見等なければ、これにて本日の議事は全て終了とさせていただきます。出席者各位にはご協力いただき感謝申し上げます。
----	--

5 閉会 [終了：午後3時20分]